

この町で素敵な「^{ミライ}未来」を描く方をご紹介します。



この町にはワクワクする場所が必要。
そんな場所のひとつにしたい。

源七 遠藤商店

えんどう 遠藤
なつこ 奈津子さん（横田尻在住）



「このお酒は、こちら辺ではうちにしかな置いてないのよ！」と明るく商品の紹介をしてくれたのが、今回ご紹介する源七遠藤商店の遠藤奈津子さんです。

遠藤さんは、大阪府出身で、25年前に結婚をきっかけに白鷹町に来ました。会話が弾むと、つい関西弁で話してしまうことも（笑）。

いつも明るく振る舞う印象が強い遠藤さんですが、来た当初は友達もおらず、言葉や文化も違う土地で、非常に寂しい思いもしたそうです。しかし、持ち前の明るさで、友人も増えて行くと、次第にこの町の良さも見えて来るようになりました。「白鷹町の食べ物本本当に美味しいものばかり！実家に贈ればみんな大喜びするんですよ！」と話してくれました。

遠藤さんは、「外から来た人の視点」でこの町の良さを発信したいと考えています。「この町の人当たり前のように感じている環境、食べているものは、本当に素晴らしいものなんです。だからこの店では、白鷹町の商品も充実さ

とにかく話好き！
なんでもご相談ください



せて、町外から来るお客さまに対してしっかりPRしていきたいんです」と話す遠藤さん。

また、町外に行かなくても、この町で楽しめる場所をつくりたいという強い思いを持っており、定期的にワークショップなどのイベントも開催しています。「今の若い人たちが、『この町に帰ってきたい』と思える町にしたい。そのためには、ワクワクする場所が必要なんです。そのきっかけのひとつになれるように、私はこのお店から、町の魅力とワクワクを発信していきます」と、希望を胸に抱きながら、まちづくりにかける思いを語ってくれました。